

平成25年度全国安全週間 社長安全パトロール実施される

戸田建設（社長：今井雅則）は、全国安全週間の初日にあたる7月1日、「京橋トラストタワー新築工事作業所」（東京都中央区）の安全パトロールを実施しました。社長自ら作業所の安全点検を行うことにより、安全衛生管理の重要性を全職員や協力会社に発信するものです。

安全パトロールにおいては、まず毎日の安全施工サイクルの基本である朝礼に出席して「ラジオ体操」に始まり、新規入場者の自己紹介、安全当番による当日の立入り禁止箇所と安全指示事項の伝達に続いて、「一人KY活動」の実施状況を確認しました。この活動は、一人ひとりの、危険に対する感受性を高めることを意図しています。

朝礼時の挨拶において社長は、工事の進め方において「作業所で働く人同士が仲間意識を持つことができ、誰にとっても働きがいのあること」を基本とし、その上で安全については「作業所の決まりを全員が守ること」、「危険箇所や安全を阻害する状況が点検され、報告され、直ちに改善が講じられること」、「一人ひとりが自身の安全意識と危険への感受性を高めること」、併せて、作業員の方が「自分自身の価値を高めること」、つまり仕事の出来栄え、効率性、安全に優れ、それに見合った報酬を得られることを目指していただきたいと熱く訴えました。

続いて行われた作業場の安全点検では特に、外壁PC板、カーテンウォール設置工事について作業手順に基づいて適切に墜落防止対策等が行われているか、高層部から飛来落下物による第三者災害防止対策が確実にされているか確認しました。また、床端部や床開口部の「開口部ゼロ運動」の実施状況や、可搬式作業台の適正使用、火災事故防止対策、熱中症予防災害の点検を行いました。

また、当社が平成15年から展開している戸田建設労働安全衛生マネジメントシステム（TODA OHSMS）について、本社で示した年度の安全衛生方針、重点目標・重点実施事項が作業所の安全衛生管理計画に基づき展開（PDCAサイクル）されていることを確認すると共に、作業所職員全員に対して訓示を行い、スケジュールを終了しました。



写真1 朝礼で挨拶を行う社長



写真2 作業場内の点検